

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 18 年第 4 回日本核医学会理事会
議事録日 時：平成 18 年 11 月 8 日 (水)
12 時 00 分～15 時 30 分

場 所：城山観光ホテル ガレリア

出席者：

理事長：日下部きよ子

理 事：油野民雄，宇野公一，遠藤啓吾，
菅野 巖，小泉 潔，小須田茂，
阪原晴海，佐治英郎，穴戸文男，
中條政敬 (第 46 回学術総会会長)，
中村佳代子，福田 寛 (第 47 回学術総
会会長)，福永仁夫 (第 7 回春季大会
大会長)，本田憲業，松田博史，
米倉義晴

監 事：久保敦司，玉木長良

書 記：戸川貴史 (幹事)

事務局：神田正子事務局長

欠席者：井上登美夫理事，西村恒彦理事

議題

I. 審議事項

- 平成 21 年開催第 49 回学術総会会長の推薦
資料 1 に基づき，日下部理事長より評議員による投票の結果について報告がなされた。有権者 178 名中 135 名 (投票率 75.8%) の有効票があり，上位 3 名は油野民雄理事 117 票，玉木長良監事 11 票，本田憲業理事 4 票であった。上位 3 名について理事会での投票の結果，油野民雄理事へ有効票 15 票があり，油野民雄理事を社員総会 (評議員会) および総会において第 49 回学術総会会長に推薦することが承認された。

2. 平成 18 年度事業計画

資料 2 に基づき，米倉理事より，評議員，理事および監事の選挙およびその他の事業計画について説明がなされ，承認された。

3. 平成 18 年度収支予算案

資料 3 に基づき，本田理事より収支予算案の説明がなされ，承認された。

4. 第 2 回社員総会 (評議員会) の議事進行

資料 4 に基づき，日下部理事長より第 2 回社員総会 (評議員会) の議事進行について説明がなされた。

5. PET サマーセミナーの分科会化について

資料 5 に基づき，福田理事より「前回理事会で PET 関連 5 団体の統合を提案したが，それぞれの組織の歴史的背景，役割があり，現時点での統合は困難であるため，統合に向けた第 1 歩としてまず PET サマーセミナー協議会をベースとして (仮称) 日本核医学会 PET 分科会を創設する」ことが提案された。種々の論議の後，(仮称) 日本核医学会 PET 分科会を創設することが承認された。ただし，分科会会則 (案) 第 4 条の事業内容，第 5 条 2 項の「会員は日本核医学会の会員であることを必要とする」の文言については，表現を再検討することとした。

6. 出版社について

資料 6 に基づき，松田理事より，説明がなされた。出版社を SPRINGER 社にするか ELSEVIER 社にするかは，編集委員会に一任することが承認された。

7. その他

会員名簿を作成することが承認された。

II. 報告事項

1. 第 46 回学術総会状況報告

中條会長より、一般演題 463 題、シンポジウム 4、特別講演 7、パネルディスカッション 3、などの内容であることが報告された。

2. 第 47 回学術総会準備状況報告

福田次期会長より、「核医学はこれからの 50 年で何ができるか」をメインテーマとし、平成 19 年 11 月 4 日～6 日に仙台国際センターで開催予定であることが報告された。

3. 第 48 回学術総会準備状況報告

米倉次々期会長より、平成 20 年 10 月に日本核医学技術学会総会学術大会と合同開催予定であることが報告された。

4. 第 7 回春季大会準備状況報告

福永第 7 回春季大会長より平成 19 年 5 月 18 日～20 日、川崎学園記念講堂(倉敷市)で開催予定であり、鹿児島島の学術総会終了後に登録を開始することが報告された。

5. 第 8 回春季大会準備状況報告

日下部理事長より、平成 20 年 5 月 9 日～11 日に東京・江戸川区タワーホール船堀を会場とし、理事長、教育・専門医担当理事および幹事により構成される「春季大会のあり方委員会」により今後企画を行い、日本核医学会が主体となり第 8 回春季大会を企画運営することが報告された。

6. 平成 17 年度事業報告

資料 2 に基づき、小泉理事より平成 17 年度事業が報告された。

7. 平成 17 年度収支決算報告

資料 3 に基づき、本田理事より平成 17 年度収支決算が報告された。

8. 会計報告

資料 3 に基づき、本田理事より平成 17 年度会計報告がなされた。

9. 委員会報告

1) 編集委員会

松田理事より資料 6 に基づき報告があり、平成 18 年 11 月より編集委員を 4 名増

員し 12 名とすることが報告された。

2) 教育・専門医審査委員会

油野理事より資料 7 に基づき報告があり、6 つの小委員会を設置したことおよび短期的整備、中期的整備内容について説明がなされた。

3) PET 核医学委員会

福田理事より、FDG 検査をすべての癌に対し保険適応とするための資料として日本アイソトープ協会の PET ワーキンググループでアンケート調査を行ったことが報告された。また PET がん検診の有効性を証明するため活動している井上班に学会から正式にメンバーを参加させるよう要望があった。

4) 健保委員会

本田理事のより資料 8 に基づき、平成 19 年 4 月 10 日〆切で、PET 保険適応の拡大、診断料の値上げ、RI 内用療法の値上げを提出予定であることが報告された。

5) 広報委員会

中村理事より、平成 18 年 11 月 10 日に広報委員会が開催され、学会ホームページ、学会誌 ANM オンライン化の整合性を図ること、ホームページの更新作業を業者に委託することが報告された。

6) 法人化対応委員会

小泉理事より、平成 20 年には一般社団法人になるが将来的には公益社団法人を目指していくべきであるとの報告がなされた。

7) 標榜科推進委員会

8) リスクマネジメント委員会

阪原理事より、平成 15・16 年度にリスクマネジメント委員会によりまとめられた「核医学診療におけるアイソトープ製剤誤投与に関するアンケート調査報告」を核医学に掲載すること、および誤投与に関する 2 回目のアンケートを発送済みであることが報告された。

- 9) 放射線防護委員会
米倉理事より、平成 18 年 12 月に防護委員会が開催予定であることが報告された。
- 10) 倫理検討委員会
小泉理事より、資料 12 に基づいて説明があり、2006 年 10 月 19 日に倫理委員会が開催されたこと、学会としての倫理要綱を委員会で作成予定であることが報告された。
- 11) 核医学イメージングガイドライン作成委員会
宍戸理事より、ガイドラインの原稿がほぼそろったので、核医学誌に掲載する予定であることが報告された。
- 12) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
佐治理事より、昨年作成されたガイドライン(案)について、内容の充実を検討中であることが報告された。
10. ワーキンググループ
11. 分科会活動
- 1) 腫瘍・免疫核医学研究会
- 2) 日本脳神経核医学研究会
松田理事より、平成 18 年 11 月 11 日に第 7 回日本脳神経核医学研究会が開催予定であることが報告された。
- 3) 日本心臓核医学会
玉木監事より、平成 18 年 11 月 11 日に第 16 回日本心臓核医学会総会・学術大会が開催予定であることが報告された。
- 4) 呼吸器核医学研究会
小須田理事より、平成 18 年 11 月 11 日に第 15 回呼吸器核医学研究会が開催予定であること、および「呼吸器 Q & A」を作成中であることが報告された。
12. 国外学会等連携担当理事
- 1) 世界核医学会
- 2) 米国核医学会

中村理事より 2007 年の SNM でも日本核医学会へブースが提供されることが報告された。

- 3) アジアオセアニア核医学会 (ARCCNM 兼務)
- 4) 日韓中核医学会
13. その他
久保監事より、「日本核医学会創立 50 周年を迎えるに際して、記録集(仮称)「今までの 50 年」を作成しておく必要があるのではないか」という提言がなされた。学会創立当時の記録が学会本部に残っており、創立当時から現在まで会員でいらっしゃる名誉会員の先生方に執筆を依頼することが提案され、承認された。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案)

- 資料 1 第 49 回総会会長候補推薦結果
- 資料 2 第 2 回有限責任中間法人日本核医学会社員総会
- 資料 3 平成 17 年度会計報告書
- 資料 4 第 2 回有限責任中間法人日本核医学会社員総会(平成 18 年任意団体日本核医学会評議員会)
- 資料 5 日本核医学会 PET 核医学分科会会則(案)
- 資料 6 編集委員会活動報告
- 資料 7 教育・専門医審査委員会案
- 資料 8 内科系学会社会保険連合第 100 回例会
- 資料 9 平成 15・16 年度核医学診療におけるアイソトープ製剤誤投与に関するアンケート調査報告
- 資料 10 日本心臓核医学会
- 資料 11 平成 18 年第 3 回日本核医学会理事会議事録(案：修正 1)
- 資料 12 日本核医学会 倫理委員会 2006 年度第 2 回委員会 議事録要旨